

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「岩村田商店街が取り組む 新たな子どもの居場所づくり」事業
事業主体 (連絡先)	岩村田本町商店街振興組合 (0267-54-8339)
事業区分	(4)安全安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,385,200 円 (うち支援金: 978,000 円)

### 事業内容

「子どもの居場所作り」のためのイベントの実施

- ①こどもまちゼミ(10時~11時)  
こどもたち(親も同伴)が商店街のお店を探検
- ②みんなで食事会(11時20分~13時30分)  
みんなで協力して「料理をつくり」食事を開催  
(この食事は、今後の「食事支援」の基礎となる  
「ママさん食堂」を運営するためのノウハウ作り  
を兼ねることになるので、運営にあたっては専門  
の指導者がついて指導してもらった。)
- ③わいわい相談会&勉強タイム  
(13時30分~15時)

相談会では助産師や医師、社会福祉士のコーディネートでダベリング。子どもたちは別室で学習会  
上記の内容で5回実施した。



【こどもまちゼミ】

### 【目標・ねらい】

- ①「未就園児」をかかえる、母子の居場所づくり
- ②「食の支援」を中心とした小学校低学年の子どもたちの居場所づくり

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「商店街」にあまり来たことのない家族が中心となった。これは、若い世代にとって、まだまだ「商店街」という場所が、身近なものになっていないということの裏返し。ただ、狙い通り、居場所を求める親子が多いのは事実であったし、この事業に賛同するグループは構成できた。

商店街の狙う効果としても、「商店街探検」という部分では成果あり。「ぜひ来年度も企画してほしい」という、参加者側からの声が多かった。

「食の支援」を中心とした小学校低学年の子どもたちの居場所づくりとしての効果は、今回の事業だけでは測れない。さらに多面的な事業展開が必要。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

これまでの、事業主体が多方面での連携を実現でき、これからの地域コミュニティのあるべき態勢を構築し始めることができたこと。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年の計画を立て、2年目は、1年目の事業のPDCAを実行し、継続して運営できる仕組みを実践すること。ただ、1年目の事業からだけでは、仕組みづくりに欠けるアイテムがある事も感じた。それを明確にして進めていく必要がある。「地域コミュニティの担い手」としての「商店街」いや「生活街」となっていく組織にとっては、解決すべき重要課題。積極的に取り組みたい。